

議 会 改 革 検 討 委 員 会

平成30年5月17日（木）

○ 出 席 委 員

委 員 長	田 中 政 義
副 委 員 長	及 川 妙 子
委 員	高 瀬 かおる
	秋 本 あすか
	岡 部 宏 章
	丸 山 哲 平
	幸 野 おさむ
	なおの 克
	本 橋 たくみ
	皆 川 りうこ
	木 島 たかし

○ 審 査 事 項

- 1 委員会の取り組むべきテーマ・今後のスケジュール等について
- 2 その他
- 3 次回の議会改革検討委員会について

午前9時33分開会

○田中委員長 おはようございます。ただいまから議会改革検討委員会を開会いたします。



○田中委員長 4月16日付で本委員会の委員が選任され、委員長には私、田中が、副委員長には及川委員が選任されておりますので、この際、一言御挨拶させていただきます。

この委員会は、国分寺市議会の議会改革に関し調査、検討を行い、その結果を議長に報告することを任務としております。任期については、議長への報告をもって終了するというものでございます。どのような内容で進めていくのか、また、今後のスケジュールなど、皆さんと協議をしながら進めていきたいと思っております。時間も限られておりますので、充実したものとしてまいりたいと思っております。特段の御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、副委員長からも御挨拶をよろしくお願いいたします。

○及川副委員長 副委員長の及川です。委員長をしっかりと補佐してまいりたいと思っておりますので、皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。



○田中委員長 それでは、1番 **委員会の取り組むべきテーマ・今後のスケジュール等**についてを議題といたします。検討に入る前に事務局から資料の説明をお願いいたします。

○志村議会事務局長 資料について説明をさせていただきます。

まず、お手元の、資料No.1になりますけれども、国分寺市議会議会改革検討委員会設置規程を資料として添付させていただいてございます。この規程でございますけれども、委員会の設置、それから任務、委員の任期などを定めてございます。議会の改革に関するものを調査、検討し、議長への報告をもって任務が終了するというような委員会の性格であることが定められてございます。庶務は議会事務局が務めさせていただきますので、会議の記録の作成、会場の確保、通知文の作成など、私どものほうで担当させていただきますと考えてございます。よろしくお願いいたします。

引き続きまして、資料No.2の説明をさせていただきたいと思っております。

資料No.2につきましては、議会運営委員会での主な検討事項を参考までに配付をさせていただいてございます。平成29年度から30年度の現在に至るまでの議会運営委員会の主な検討事項が7点、議会だより「シリーズ国分寺市議会」掲載から、国分寺市議会災害対応による参集訓練の実施までと、平成29年度以前の議会運営委員会での検討事項2件を載せさせていただいてございます。

平成29年度から30年度までの検討事項の中で、議会基本条例の制定というものが項目として挙がっております。これについては、議会運営委員会の中での意見は、制定を前提とするものではなく、自治基本条例の議会条項の部分を実質させてからのほうがよいのではないか、また、自治基本条例の議会条項の検証を含めて今後の改善の余地がないか、前向きに検討していく必要があるなどのさまざまな御意見がある中で、今後の進め方として、有志での研究会をつくったり、また、議長が諮問する形での検討委員会を設置して検討していったほうがいいのかというような意見がありましたことを御報告申し上げます。そのほかの事項については、議会運営委員会の中で一定の結論が出ている状況でございます。

平成29年度以前のものについては、当時の議会運営委員会で検討課題として挙がりましたが、委員の改選などの時間の関係から、結論に至っていないものを参考までに記載してございます。

資料No.3の説明に入りたいと思っております。

2017年における民間の調査機関が実施した議会改革度調査になります。この調査実施機関が議会改革として取り上げている項目が設問として設定されている調査でございます。

調査のつくり方としては、当該議会の基本情報を聞いた上で、大きく3つの議会改革の視点で調査項目が設定されております。まず、最初の議会の基本情報としては、設問1から12までになります。都道府県議会なのか、市議会なのかという当該の基本情報、議会の所在や議員の構成などを聞いております。

次から議会改革の調査項目に入っていくんですけども、1点目としては、情報共有の取り組みとして、設問の13から25までになります。情報共有の取り組みです。これは、議会の情報を市民にどのように、どれくらい公開しているかなどを聞いてございます。

次に、調査項目の大きい2点目になりますけれども、住民参加の取り組みとして、設問の26から40になります。住民参加の取り組みでは、議会の傍聴の機会がどれくらいあるのか、また傍聴しやすくするための工夫など、そういったことをさまざま聞いているというような調査でございます。

3点目としては、議会の機能強化の取り組みになります。これは設問の41から最終ページの75までになります。この機能強化での取り組みというのは、議会基本条例の制定状況や議会改革のための検討組織の設立状況、また災害時の議員の行動などについて、聞いてございます。

この資料No.3としては、議会改革とはどのようなテーマ、項目があるのかということを検討するときの参考資料として御使用いただければと考えてございます。

資料No.4は、資料No.3の調査で2016年に実施したものの集計の概要となっております。調査実施機関の名前が表紙の下に記載されてございます。資料No.4の6ページをごらんいただきたいんですが、議会改革の調査の分析の観点について、この機関の考え方が示されております。1点目としては情報共有です。本会議や委員会の議事録・動画・資料、また賛否の結果と理由・政務活動費・視察結果などをどれだけ住民に対して公開しているか、また、公開した結果どうなったかについてなど検証を実施しているということを見ております。その説明文の下には考え方の詳細が示されてございます。

7ページは、2点目の視点として住民参加でございます。議会傍聴のしやすさ、それから議会報告会の実施、住民からの意見受付を見ているとおおり、その下に考え方の詳細が示されてございます。

3点目の視点としては、その下になりますが、③議会機能強化、議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況を見ているとあります。この調査実施機関は、議会改革をこういった考え方で捉えて、調査を実施しているというような状況でございます。今後の御議論の参考にさせていただくために、資料No.3と資料No.4と参考資料として提出させていただいてございます。

説明は以上でございます。

○田中委員長 資料に関して、皆様、質問等がありますでしょうか。

○幸野委員 この資料No.3のアンケート結果というのは、いつごろ出るんでしょうか。

資料No.4は、議会改革度調査2016調査概要が、昨年6月に出ているということからいくと、ことしの6月に最新のものが出ると理解していいんでしょうか。

○志村議会事務局長 まだこちらの結果がいつ出るかは確認をしていない状況です。昨年は6月ぐらいに一定の調査内容が報告されてございますので、またその時期に確認をしてみたいと思います。

○幸野委員 ちなみに、資料No.3も早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革調査部会の調査ですか。

○志村議会事務局長 そうです。

○田中委員長 それでは早速、検討に入っていきたいと思うんですけども、委員長といたしましては、

この議会改革の内容とかテーマについて、委員の皆さんがどのように考えているのかお聞きをしたいと思っております。それを踏まえて、どのように進めていくかもあわせて皆様と協議したいと思っておりますので、取り組みたいと思っていること、また他市の状況などの紹介でも構いませんので、おのこの委員の皆様から御発言をいただきたいと思っております。挙手をいただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○皆川委員 本日、第1回の委員会が開かれるに当たり、私は本当に真っさらな気持ちで、何が改革で、何を、どういう形で臨んで、どういうふうに進めばいいのかなというふうには思っていました。

それで、思ったところは、きょうの資料には余り私はこだわりたくないんです、まずはね。何が課題なのかというものを、まず課題として洗い出すというのも必要なのかなというふうには思いました。議会としてやるべきことは何か。でも、その課題を抽出するに当たって、実はさっきこの資料説明でも触れていたんですが、ネットを検索する中では、やはり議会の情報公開の部分ですとか、それはまさに情報共有ということも言い方としてはありますが、事例としては、例えば政務活動費の、余り個別にとられるつもりはないんですが、まず情報共有の部分とか、議会への住民参加のこととか、議会の機能強化、その3つに関しては、私が調べた限りでは、そのくらいのテーマで、国分寺市議会として何か課題があれば、それをどう改善、改革すべきなのかということを整理するのも一つかなというふうには思いました。

一応そんなふうにして、きょうこちらに臨みましたということだけお話しさせていただきました。

○木島委員 内容というよりも、進め方で、皆さんで一定の共有というか、考え方、今後の進め方という部分で、議長からこういう形で諮問をいただいて、一方では議会運営委員会の中で、自然な形で改革を進めていくことが必要だよという皆さんのいろんな共通の認識もあって、きょうこういう場が設定されていると思います。

一方で、私たちも、限られた議員としての任期も、もう1年を切っている状況の中で、前回だったかな、議会運営委員会の中でも、進め方をどうしていくかという部分で、一定、議運の中では議論があった部分なんですけども、当然、きょう閉会中で、こういう場で設定がされてということで、会期中はなかなか現実問題として、十分な検討委員会として時間を割いていくことが多分難しいだろうという話だったと思うんです。なので、やはり閉会中を軸に進めていくというスケジュール観ですかね。ここをみんなで共有をまずしておく必要があるのかなと。なので、閉会中については、一方で一定の時間を割いてやる必要があるのではないかなと思うので、限られた時間を有効に使っていくという上でも、その点はまずみんなで共有というか、認識をしておく必要があるのかなと思います。意見です。

○田中委員長 ありがとうございます。そのスケジュールのところに関しましては、次回以降、木島委員にも御意見いただいたように、なかなか会期中にこの日程を組むということは現実難しいと考えていまして、閉会中に1回、ないしは議論の進捗によっては2回の開催を考えております。次回以降は、その日はこのスケジュールだけの日程が組めるように調整をしていけたらと思っております。これに関しましては、皆様、ほかに御意見がもしあれば、よろしいでしょうか。そんな感じで進めていければと思っているんですけど、よろしいですか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○田中委員長 ありがとうございます。そのように進めていきたいと思っております。

○幸野委員 今、木島委員が指摘されたことも、私はちょっと気にかかったところではあるんですけど、閉会中に進めていくというのはいいんですけど、議会改革って結構大きな話ですし、当然継続的にいろいろやっていくという話に多分なると思うんですけど、来年の4月には改選があるということですので、当

然その議員自体がかわるということも前提になります。また、そこから多分再スタートみたいな形になると思うんです。それは、そういうふうを考えて、この検討委員会は1年間でできることをとにかくやると。そういう意味で、ある意味そこで結論を出した上で、当然引き継ぐことはあるんだけど、改めてそのことも含めて次回以降にリスタートというか、改選したときの新しいメンバーでリスタートすると。こういうふうに位置づけて、だから、やれる範囲は、そんな壮大な話は多分1年間じゃできないと思うので、1年間でできる範囲でのことをやるということをちょっと確認したいんです。それとも、もっと大きな話で、複数年かけてやっていくようなことをここで始めていって、改選の人たちもそこに入ってもらうようなタイムスケジュールでやるのか、その辺はどういうふうにお考えなんでしょうか。

○丸山委員　今、幸野委員がおっしゃったところで、結果をしっかりと求めていくということも非常に重要な観点ではあるかと思うんですけども、逆に結果というものだけに縛られてしまってもよろしくないもので、ある意味、当然幸野委員もそれは御理解の上で発言されていると思うんですけども、性急なものになってしまうということも避けなきゃいけないかなということで、やっぱり段階論だと思うんですね。まずは、しっかりどういう機能面で、また課題テーマで、議会として取り組んでいかなきゃいけないテーマがあるのか、どういったことがあるのかということを整理すると。マイルストーンの置き方というか、それをまず置くということを一つ目の目標としてまず設定をして、その次に、その中から時間的なところで、1つは我々が今この改選前にやり得ることがあるのであれば、そこに1つの結論を出すということはやるべきかなと思います。そこで、一定、課題が整理された中で、例えば年内であるのか、また年明けぐらいのタイミングまでに結論が見えそうだというものをまた抽出して扱うということもできるでしょうし、複数年にかかって、ちょっと難しいものがあるなということであれば、そこは情報として整理をしてお渡しをしていく。それに対して、どのように扱うのかというのは、まさに改選後の入れかわったメンバーのところで、意見としてそれを踏まえていただいて、取るもよし、取らぬもよしという形になるのかなと思います。

まず、本日の段階では、機能面という切り口でもいいと思いますし、また具体的なテーマという切り口でもいいと思うんですけども、どういったことを今後扱っていくべきなのか。多分これも各党派、各議員がそれぞれに重きを置いている部分って違うと思うので、そこを一旦出して、それを何らかのソートをかけるとか、整理をする。次の段階で、全体としてそれは取り上げていくべきなのかということをもとめていく。その次に、そのまとめたものの中で、取り急ぎ扱えるというか、期間的に短いところで扱えるものは何かということで整理をする。それで取り組んでいく。大きなものは何かというのを分けていく。こういう段階で考えていかないと、ある意味で話がぐるぐる回ってしまうと思いますので、これは私の意見ではありますが、まずは課題抽出というところを第一目標としてやるべきではないかと思います。

○田中委員長　ありがとうございました。私の説明が少し足りなかったかという気がしています。きょうは、この任期中に我々で取り組めるもの、結果の出せるもの、また、そうじゃなくて、改選後にも考えていただきたいものもあわせて、どんなことを皆さんがお考えになっているか、お持ちになっているかということをお聞きしたいと思っていました。

そうした意味では、今、丸山委員にいろいろと説明というか、御意見をいただきましたので、そのような感じで、特にとらわれることなく、忌憚なくいろんな意見をいただければありがたいかと思っているんですけども、どうでしょうか。その中から、取り組めるもの、そうでないものという判断というか、それはまた出てきた後の話であるので、まずその前段で、どんな課題がありますかというところでの御意見

をいただければと思っています。

○皆川委員 冒頭に申し上げましたが、私も、まず課題を整理した上で、何が取り組めるかということ、ここでは一つ進めてはいかかなということで申し上げました。その課題も広いので、先ほども申し上げました、きょうのアンケートにこだわるつもりはないんですが、ただ3つくらい大きなテーマとしては、情報共有、情報公開の部分とか、市民参加、住民参加といいますか、その部分が2つ。3つ目として、議会の機能強化について。その3つくらいで課題が抽出できないかなというように私は思っておりますので、そのテーマで整理してみてもいいかというのが1つの私のあくまでも提案です。

○丸山委員 1つお願いというか、要望なんですけども、どうしても、この検討委員会、当初の段階では課題の抽出であったりとか、やり方を決めるということで、いろいろな角度からいろいろな御意見が出てしまうという、これは求めるところなんですけども、その結果、次回開催時に、前回どういったことを話したのかとか、どういった流れにしていこうということになったのかというのが、ある意味ちょっとつかみかねる部分が出てしまうということが懸念されるので、事務局のほうに、次回以降、次回であれば今回の要旨はどういった内容であったのか、どういう形だったのかということは、一定まとめて資料として出していただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

○志村議会事務局長 ただいま、今回の委員会の要旨について、次回の委員会にということで、提出できないかということで御要望いただきましたが、こちらのほうについては、次の委員会に間に合うように御用意したいと考えてございます。

○田中委員長 お願いします。

先ほどの皆川委員の御意見だと、テーマということですよ。何か具体的なものがあつたりするんですか。もしあれば、それも一緒にお聞きしておいたほうがいいのかと思います。

○皆川委員 その3つのくりでいいのかも含めて、私はいろいろ自分なりに調べて、この3つが整理した上での、課題を抽出する上でのテーマとしていいのかと思ったということなので、その各論的なことに入っちゃうと、またちょっとややこしくなっちゃうかなとは思っています。だから、課題を抽出するにしても、どういうジャンルで課題を抽出するかということのあくまでも事例です。

○丸山委員 課題の切り方、先ほど皆川委員がおっしゃった、この情報共有、住民参加、議会機能強化ですか、この切り方というのは、私もこれは一つ整理しやすいかと思いますので、これには賛成をします。

その上で、ただ、ここで1個足りないと思ったのが、議会そのもののあり方です。具体的にどうということかという、私は前期の議会運営委員会の委員だったんですけども、その際に、昨年1月の議会運営委員会で私は発言もしているんですが、例えば議員定数の適正化ですね。議員の箱の形そのもの、人数であつたりとか、報酬そのものは、やはりこれはこれで1つ改革のテーマというか、問うべき根本的な1つの問題であろうと思いますので、ちょっと表現はどうすべきか、これはだから情報共有、住民参加、議会機能強化、そのメッシュでははまらないところだと思うんですが、ただ、報酬であつたりとか、その定数、こういった部分というのは、1つは市民的な関心、また我々の仕事のやり方そのものの根本を決めていくところなので、大変重要な観点だと私は思っていますし、そういった趣旨で昨年1月も発言をしているということもありますので、この3つに加えて、きょうは表現としては議会のあり方というか、枠組みとか、どういった表現がいいのかはまた考えたいと思うんですが、そうしたものを設けて、そのうちの個別テーマとしては、議員定数の適正化というものは、1つ課題としては出すべきであろうという意見であります。

○田中委員長　わかりました。ただいま御意見いただきましたが、恐らく皆川委員から先ほど出していた
いただいた3つのテーマの中で言えば、議会機能強化の中に含まれるのかなど。そこに入れ込んでもいいの
かなというような気はします。

○幸野委員　今、皆川委員と丸山委員からも、課題の設定というお話があったんですが、どういうふう
にくくるかというのは、私はいろいろあっていいと思っているんです。やっぱりその前提条件が、まだまだ、
さっきの話でいくと、この国分寺市議会を今後長期的に考えたときに、他の自治体に比べて、あるいは市
民に対して、あるいは行政に対して、どこがどういうふうに課題になっているのかというのを出発点にし
て、かなり壮大な、全体的な話を話し合う場なんだということを理解した上でなんですけど、そうした
ときに、今の状況だけだと、多分個人的に、あるいは会派的に感じられている課題というレベルに多分ど
まっちゃうのかと思っています。そういう意味でいくと、このアンケート結果というのは非常に大事か
と思うんです。これだけとは思わないんだけど、前提条件として、やっぱり他の自治体がどういうことを、
どこまでやられているのかという結果というのは非常に大事にしなきゃいけないし、参考にしなきゃなら
ないことで、それが国分寺市議会の課題をどういうふうに抽出していくかという問題点でいっても、や
っぱり前提になるかなど。そのことなしに、それこそ個人的な、会派的な話になっちゃうと、いろいろバ
ッティングすることが多分往々に出てくるだろうと。本当に形としてできることもそうだし、長期的に見
てもステップアップしていけないだろうと思うので、その情報をまず、きちんとやっぱり前提条件を整理
しておく必要があるかなど。その上で、個人的な、会派的な課題というのも出し合って、それをテーマに
するかどうかということも含めて考えていったほうがいいんじゃないのかなど。定数の話とかも含めてな
んですけど、きちんと情報はまず前提に出していただくのがいいかなど。

この議会改革度調査2016の概要というか、観点の話だけなので、このアンケート結果がどういうものな
のかも、私はまだ見たことなく、不勉強で申しわけないんですけど、そういうふうに長期的に、本当に
国分寺市議会を全体的な課題を解決しながら引き上げていくということを考えるのであれば、ちょっとそ
こはいろいろ、この早稲田大学マニフェスト研究所だけじゃなくて、さっき言った公的な全国市議会議
長のデータ結果とかも含めて取り寄せていただいて、そのことを前提に、国分寺市議会が今どの位置に
いるのかということです。市民的に、当然皆さんが伺ってくる意見なんかも含めてですけど、明らかにした
ほうがいいのかと思うんですけど、いかがでしょうか。

○志村議会事務局長　まず、今回出したその議会改革度調査の最新版については、ホームページにどれぐ
らいにアップされるかというタイミングがあるんですけども、もし最新版を取り寄せられるようであれば、
このホームページに何度かアクセスして、取り寄せられる努力をしたいと思います。もし次回までに最新
版がなかった場合については、前年度の形になりますけども、その結果をダウンロードしてお示しす
るというやり方。あと、議長会のほうについては、こういった形での細かい調査がないので、どういう形
でお示しできるかについては、こちらのほうで検討させていただきたいと思います。

○及川委員　それと、一応現状を確認しないといけないので、このアンケートの回答、それも次回お願
いできますか。

○田中委員長　国分寺市議会が回答するとどうなるかということです。

○志村議会事務局長　ただいまの御提案につきましては、国分寺市がこの調査を実施した場合に、どう
いう項目にチェックがつくかというような、そういうことでございますよね。そこについては、この調査項
目に沿って当てはめて、次回御報告したいと考えます。

- 及川委員 正式に回答してないのに、ここだけ出すのって変かな。変じゃないですよ。内部資料で出すのか、実際に。
- 田中委員長 でも、国分寺市が今どういった現状なのかというのをやっぱり把握する必要はあるかと思うんです。答えられるものと、そうでないものがあるかもしれないんですけど。
- 志村議会事務局長 私どもも、あくまでも参考資料として、この調査にトライしてみて、お示ししたいと思います。
- 田中委員長 お願いいたします。
- 幸野委員 あともう一つ、きょうの資料No.2で、29年度、30年度、それから29年度以前の検討事項というふうにあるんですが、国分寺市議会が、この間、インターネット中継しかり、議会だよりの改正しかり、さまざまやってきたと思うんです。それをちょっと過去の時系列で、どういうことを取り組んできたのか、どういう分野に力を入れてきたのか、国分寺市議会がですよ。国分寺市議会がやってきた経過というのも、この29年度、30年度はわかるんですけど、それ以前も含めて、わかる範囲で、ここ数年の時系列で、この段階でこういうことに踏み切ったとか、この段階でこういうことをやったというのは、もし整理していただければ、この間の国分寺市議会の到達点というか、そういうのも縦軸の部分でわかるのかと思いますので、それをお願いできますか。
- 田中委員長 それは、その時系列のものだけでいいということですか。例えばですけど、いつ日曜議会が始まったとか、そういうことって調べられますか。
- 志村議会事務局長 今、即答に困るところもあるんですけども、事務局のほうで、ただいまの御指摘を受けまして、どういった項目を拾っていくかということにもよると思うんです。私どもでちょっと検討させていただいて、どれぐらい前までにさかのぼるかということになるかと思うんですけども、例えばここ10年の期間でお調べしたいと思います。
- 岡部委員 今、基礎的な資料が必要だということで、いろいろ御指摘が出ているところなんですけども、先ほど3つの柱で、テーマについて課題整理もして、まわしていったらどうかというお話が出ていました。私も、その基礎的な資料というところで、こういうのがあったらいいんじゃないかと思うのは、1つは、住民参加というところです。まず1つ思い浮かぶのは、議会傍聴がどれぐらいいらっしゃるかということは、1つ基礎的な資料としてあったらいいということがあって、議会傍聴者数というのは、当然記録にありますよね。もし可能であれば多摩26市の中での傍聴者数、そういうのが公表されているんでしょうか。そういう他市との比較なんかも、もし入手ができれば、そういうものも参考になるんじゃないかなというのが1つ。それから情報公開にしても、今、インターネットにその議事録を載せてダウンロードできる形にしていたりとか、そういうこともやっていますけども、これはどこまで公的なデータとして捉えられるかという問題があるんですけども、それが閲覧されている数とか、そういったものも基礎的なデータとしてあったらいいんじゃないかなということも思うんですけども、いかがでしょうか。
- 志村議会事務局長 ただいまのお求めの資料は、多摩26市ということになりますと、当然、私どもは当市の傍聴者数については記録している状況ではございます。他市になりますと、例えば本会議、委員会それぞれあって、議会がどの程度それを公表しているかということ、ホームページで拾えるところは拾える形にはなると思うんですが、資料として御提出いただきたいということであれば、私どものほうで、例えば26市というふうにおっしゃられましたけれども、近隣市とかそういったところにお問い合わせして、どれぐらいの年度にもよるかということもあるんですけども、いずれにしても、ちょっと調査をかけないと

他市のところについてはわからないかなという状況でございますが、資料としてお求めになるかどうか、改めて確認したいと思います。

○岡部委員　多摩26市となると、なかなか作業量も膨大になるという可能性もあって大変だということはおわかりですので、そこは検討していただければと思うんですけども、例えば人口規模が似ている、いわゆる類似団体から収集していただくとか、可能な範囲でということで、検討していただければと思います。

○田中委員長　ここで、一定時間たちましたので10分程度休憩したいと思います。

午前10時45分休憩

午前11時18分再開

○田中委員長　それでは、委員会を再開いたします。

これまで話がかなり多岐にわたってしまっていて、一度整理をさせていただきたいと思います。議会運営委員会のほうで、議会基本条例の制定の是非も含めて、中身について皆さんと細かくより詰めた議論をするためにこの場が開かれているということを皆さん御認識いただきまして、これまで、その条例の中身の話について、皆さんからさまざま御意見をいただいたところでございます。他市の議会基本条例、制定されているところの中身なんかも参考にさせていただいて、国分寺市でこれから是非も含めてどうしていくのか、御意見をまたいただければありがたいと思います。よろしいでしょうか。

○丸山委員　それでは、これから検討に入っていく中で、全くゼロから話を積み上げていくというのは、なかなか時間的なところで難しいところもあると思います。近隣市で既にその基本条例を定めているところがあると思いますので、それについて資料として提出いただきたいと思います。いかがでしょうか。

○志村議会事務局長　近隣市の状況ということで御報告を申し上げますと、自治基本条例を持っていないながら、議会基本条例もあわせ持っている自治体についての調査という御指摘だと考えてございます。この自治基本条例を持ちながら、その自治基本条例の中に議会の情報も持ちながら議会基本条例を持っている自治体というのは、26市では、平成27年12月31日現在、これは全国市議会議長会の情報になりますけれども、調布市と小平市と東村山市と多摩市、この4市になります。議会運営委員会には、この中で小平市の自治基本条例と、それから議会基本条例をピックアップして御提出させていただいてございます。

その理由というのは、小平市が自治基本条例を最高規範に持ちながら、議会基本条例というのは、その最高規範である自治基本条例の条項を受けて制定しているというようなつくりになっていたことから、小平市をピックアップして提出しているという状況でございます。まず、小平市の資料を提出させていただくとともに、よろしければほかの3市につきましても御提出することができますが、いかがでしょうか。

○丸山委員　これまでの流れの説明を含めてありがとうございます。小平市がある意味で既に資料として出していただいているということなんですけども、できましたら他市、その他のところも3市分出していただいて、各委員でその部分比較をした上で、どういったところが当市において現状あるのか、ないのか、また必要なか、必要ではないのかといったところの議論の大変参考になるとと思いますので、プラス3市、御準備いただけますようお願いをしたいと思います。いかがでしょうか。

○志村議会事務局長　小平市以外、調布市と東村山市と多摩市の3市につきましても御用意させていただきたいと思います。

○本橋委員　事務局の負担にならない形でいいんですが、26市の自治基本と議会基本条例の制定状況がわかれば一覧で示していただきたいと思います。

- 志村議会事務局長　その状況につきましても、あわせて、それでは次回、資料を用意させていただきたいと思います。
- なおの委員　去年ですか、8月30日の議運に条例の制定状況というのはお示しいたげて、本橋委員のお求めというのは、その最新版だと理解をしております。そのときに、武蔵野市、府中市は自治基本条例を制定していないというところで、検討中という報告を受けていたかと思いますので、その検討経過というのをお知らせいただければと思います。
- 志村議会事務局長　この調査につきましては、前回その議会運営委員会で御報告させていただいたものは、これは全国市議会議長会が取りまとめたものの中で、一部記載の誤りがある御指摘を、これは木島委員から御指摘もいただいて、訂正をするというような状況があったと記憶してございますので、その辺のところをお調べして御報告差し上げたいと考えてございます。
- 木島委員　その進め方で私もいいと思います。その上で、今の自治基本条例の議会にかかわる、これは資料請求じゃないんですけども、改めてもう一回原点に戻るという意味で、私たちももう一回これまでの自治基本条例の議会条項のおおの問題意識というか、検証というんですかね、この中でかなり凝縮されている部分というか、当時の制定した背景を考えれば、今振り返ってみても、かなりしっかりしたことが書かれているという印象もあるので、その上で、この中でさらにある意味では改善が必要なものとか、そういった視点もより具体的に発言がもしあるのであれば、そういったことも出していけばいいのかなと思うので、改めて私たち委員も、もう一回この議会条項について、次また集まるときまでに、各自でしっかりと研さんした上で臨むというような取り組みもちょっと必要ではないかなと思ったので、意見です。
- 皆川委員　冒頭に、この議会改革検討委員会の進め方も含めて御提案させていただきましたが、それについては、当然のことながら、議会運営委員会に、これまでの議論を踏まえて、積み上げた今、国分寺市でやるべきことという中で議会基本条例がある。それについて検討していくという方向性が今見えている中で、先ほど冒頭に、繰り返しになりますけど、3つのテーマに分かれて整理していったらどうかなということでも申し上げました。それについては、るる資料等をまず示していただいた上で、それを確認した上での話になるかなということも思うところですので、それは1つの御提案ということで受けとめていただければいいかなと思います。

まず、それについては1点目で、あわせて資料ということでお願いしたいと思うんですけども、皆さんがそれは必要だねと思えばもちろん結構なんですけど、今回、民間ではありますが、大学の研究会で出されている、毎年やっている議会のアンケートの項目のものが出されております。このホームページを見ますと、議会改革度のランキングというのがあるんです。それに私は何も縛られるつもりはないんですが、1つの参考にはなろうかなと思って見ているんです。私が見た限りでは、北海道芽室町というところが1位で、幾つかもちろんあるんですが、都道府県別とか、市町村別とか、行政の大きさによってランキングというのがありました。それはその参考ではありますので、じゃあ、果たして1位、3位、5位までなると大変かな。どういうところがこのアンケートに即してランキングが高くなっているのかということも知りたいと思いますので、そういう結果、どういうところがランキングが高く、ランキングを高くしたいということを言っているわけでは私は決してないんですが、参考資料として、そういう結果、ランキング度が高いところの自治体が、どういう取り組みをされているのかということがわかるものがあればいいのかなと思います。ですので、その自治体の条例に関しては、もちろんホームページで見られるんですけど、アンケート結果など、入手できるものなのではないでしょうか。それが1位だけがいいのか、複数がいいのかとい

うところは迷うところなんですけども、そういうのも1つ参考かと思います。だから、お願いしますというよりも、ほかの委員の皆さんがそこまで要らないよというのであれば……。

- 志村議会事務局長　より理解を深めるために、改めて確認なんですけども、ただいまのお求めの資料なんですけども、調査機関が実施しているその集計結果については、次回、最新のものを取り寄せることを先ほど御報告させていただいたんですけども、その内容に加えて、例えばランキングが高い議会の主な取り組み、なぜ議会改革として高くなったのかということの取り組み、もしくは高いポイントを持っている自治体が、この調査項目に当てはめて、どこが評価されているからどこをやっていますというような答えをしているのか。いわゆる自治体の単位での例えばそういう結果があったら、そういったものをお示しし、それから資料として御要望されているのかというような理解でよろしいでしょうか。
- 皆川委員　前段で、その先進事例ということで、もう調査するという事になっていたんですよ。いづれにしても、このアンケートにすごくこだわるわけではないんですけども、今、局長がおっしゃってくださったように、傾向として、どういう取り組みをしていることがランキング度を高めているのかと言ったらいいんでしょうかね、そういうのが傾向としてわかるようなものがあればいいかなと思います。一自治体の名前だけ挙げましたけども、別にそこにこだわっているということではありません。そのようなものというのは調べられるものでしょうか。できればあってもいいかなと思っていました。
- 志村議会事務局長　こちらの資料につきましては、調査機関がどのような形で公表しているのかということによるところが非常に大きいと思いますので、それをまず確認して、今おっしゃられたような内容が確認できた場合については、お示ししたいと考えてございます。
- なおの委員　今後の進め方の提案の一つなんですけれども、事務局に資料請求するというのは必要などころではあると思うんですけども、その議会基本条例を、例えば小平市なんかの議会基本条例をベースに、条ごとに進めていくかどうかは委員長の進め方だと思うんですが、例えばこの中でも広聴委員会とかというのが条文としてあって、じゃあ、これがどういうことをやっているのかというのは、その都度資料請求すると、またその次の委員会での議論とかとなって、限られた時間の中で、非常にもったいない状況になってしまうので、そういった意味で言うと、ある程度議会基本条例を見る中で、議員個人として、調査に基づいて、こういう事例があるので取り組んではどうかという提案に関しては、おのおのが調査をして、その資料をこの委員会に持ち寄って皆さんにお示しするというやり方も取り込めたらいいのかなと思うんですけども、いかがでしょうか。皆さんの御意見とかもいただければと思います。
- 高瀬委員　私も実は今ちょっと同じように考えてまして、この委員会ではなるべく自分たちで調査できるものはしながら、その中で、やっぱり共有をしていきたいとか、こういったいいことがある、あるいはこういったところがちょっと難しそうだということも含めて情報をお互いに提供し合うというような、そんな進め方をしてはどうかと思いますので、今のなおの委員の御意見には賛成です。
- 田中委員長　実は、皆さんにお願いをしようと思っていました。委員長としまして、事務局の作業負担の軽減にもつながるんですけども、やっぱり御自身で調べられるところはぜひ調べていただいて、それをまた次のときに発表していただいたりということが必要になってくるかなと。より時間を有効に使うためにも、今のお二方の御意見と同じですけども、ぜひ皆様にもお願いをしたいと思っております。御協力いただけますでしょうか。
- 皆川委員　私も先ほど発言しながら、皆さんの御賛同が得られたらという言い方もしたんですが、そういう意味では、ちょっとやっぱり厳しいなというのがありますので、先ほどの調査をお願いしますと言っ

たような部分については、私自身が調べますので、もし必要であれば、次のときに皆さんに御提供したい
と思います。本当に限られた中で、より効率的に有効な議論をしたいという思いは私も全く同じです。

○田中委員長 わかりました。ありがとうございます。

○皆川委員 全く異論はありません。

○田中委員長 全く事務局側に資料請求をお願いしないでくださいという話ではないんです。調べられる
範囲では調べていただいて、なかなか個人では調べ切れないところもあると思うので、お願いすべきとこ
ろを選択してお願いをという意図でございますので、よろしくおんいをいたします。

ほかに御意見ございますでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○田中委員長 よろしいですか。

本日、さまざまいろいろと御意見をいただきました。また、資料の請求もございましたので、よろしく
おんいいたします。

_____ ◇ _____

○田中委員長 2番 **その他**、ございますか。

(「なし」と発言する者あり)

_____ ◇ _____

○田中委員長 3番 **次回の議会改革検討委員会について**を議題といたします。

ここで、委員会を暫時休憩いたします。

午前11時38分休憩

午前11時51分再開

○田中委員長 委員会を再開いたします。

本日、さまざま皆様から意見をいただきました。また資料請求も出ております。また、先ほど木島委員
からもお話がありましたけれども、ぜひ自治基本条例の議会条項のところを読み込んでいただいて、また
皆さん同じ認識で、次回以降、御意見をいただければと思いますので、どうぞよろしくおんいをいたしま
す。次回は7月11日、9時半から開会をしたいと思ひます。

それでは、本日の議会改革検討委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前11時52分閉会